



TITLE:

キャッチャーフラワー

安藤 未来

神奈川県立小田原城北
工業高等学校

作ったキッカケ

私自身が、机で作業をする際使い終わったものを片付けずにそのまま置きっぱなしにしてしまいます。その時にプリントや、ペンなどの小物類をよく床に落としてしまいます。その「ものを落とす」ことを無くすためのロボットを考えました。

学校のテストの最中でも、必ず一人はペンか消しゴムを床に落とします。それでは時間ももったいないですし、静かなところで音が鳴るので周囲の集中力も途切れてしまいます。このようなことを無くしたいと思いました。

どんなロボット

花びらがソーラーパネルになっていて、風に揺られているように動いています。

蔓の部分をもの脚に巻きつけて使用するので、デッドスペースを活用することができ、邪魔になりません。

このロボットは、茎や葉が伸びるようになっていて「物が落ちる!!」となる瞬間に、花の上にある葉のセンサーが反応して赤く色づき落下物をキャッチしてくれます。葉はやわらかな素材なので紙をとっても破れることはありません。

まるで本物の花のようで、物を取るロボットとしてだけでなく、観葉植物のようにインテリアとして使うことができます。

